

「ふれる」鑑賞と制作に参加して、「みる」ことの感覚をひらく

東京都渋谷公園通りギャラリー 交流プログラム
「光島貴之滞在制作・展示 GOING OVER -まちの肌理^{きめ}にふれる-」
開催のお知らせ



東京都渋谷公園通りギャラリーは、2022年夏の交流プログラムとして、「光島貴之滞在制作・展示 GOING OVER -まちの肌理^{きめ}にふれる-」を開催いたします。本企画では、美術家として活躍している全員の光島貴之を招聘し、「まち」をテーマに滞在制作及び観客参加型の展示を行います。

これまで光島は、「さわることで見る」絵画の可能性を長年探ってきました。光島の作品を通して、「まち」にあふれる音や匂い、足の裏で感じる地面の質感といった、「まち」の肌理^{きめ}にふれる感覚を刺激します。

本企画では、開催期間中、滞在制作と一般公開の期間が交互に入れ替わります。一般公開の間は、滞在制作中の光島の作品制作に参加することができます。作品を触って鑑賞すると同時に、訪れた皆さんが作品制作に参加することによって、予期せぬ造形物が会場に立ち上がるでしょう。それは視覚だけではない世界への入り口であり、その先に広がる「まち」にふれる機会となるかもしれません。



《ハンゾウモン線・清澄白河から美術館へ》2019

釘、まち針、鋸、ピン、フック、ステップル、トタン板、木材
制作協力：アトリエみつしま Photo: Alloposidae



概要

美術家として活躍している全盲の光島貴之を招聘し、「まち」をテーマに滞在制作及び観客参加型の展示を行います。

企画名：光島貴之滞在制作・展示 GOING OVER -まちの肌理にふれる-

会期：2022年8月9日（火） - 9月25日（日）

滞在制作：8月9日～11日、8月16日～18日、
8月23日～25日

※作家滞在制作中は外からご覧いただくことはできません、
一般入場はできません。

一般公開：8月12日～14日、8月19日～21日、
8月26日～9月25日

開館時間：11:00 - 18:00

休館日：月曜日（ただし9月19日は開館）、
9月20日（火）

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース

入場料：無料

主催：（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
東京都渋谷公園通りギャラリー

ウェブサイト：

<https://inclusion-art.jp/s/machinokimenifureru>



《山》2019

ベニヤ、カッティングシート、釘、合板
制作協力：アトリエみつしま

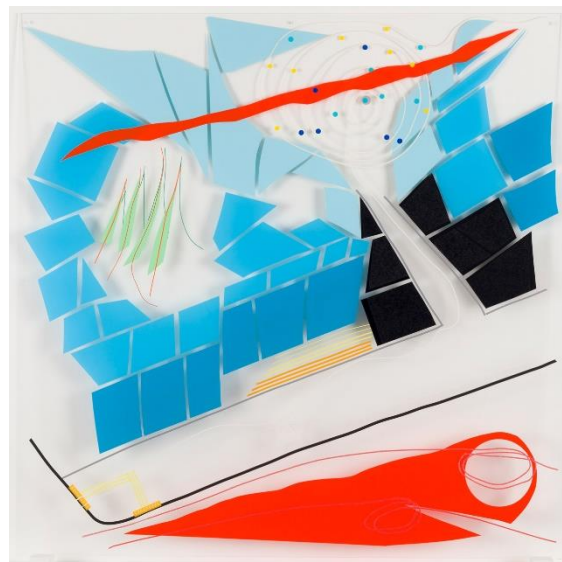
Photo: art space co-jin アートと障害のアーカイブ・京都



《竹のリズム》2004

ラインテープ、カッティングシート、シール、紙

Photo: art space co-jin アートと障害のアーカイブ・京都



《路地を通り抜けると》2015

カッティングシート、ラインテープ、点字シール、シール、
アクリル板

制作協力：アトリエみつしま

Photo: art space co-jin アートと障害のアーカイブ・京都

【お問合せ】

東京都渋谷公園通りギャラリー（（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-19-8

TEL: 03-5422-3151 E-mail: inclusion@mot-art.jp Website: <https://inclusion-art.jp/>



一般公開の期間にできること

滞在制作中の記録映像やそこに残る制作の痕跡を感じとり、作家やほかの参加者とのコラボレーションにぜひご参加ください。

- ・会場では作品をさわってご鑑賞いただけます。作品の性質上、過度な力を加えると壊れてしまうので、やさしく触れてみてください。
- ・会場に壁面を特設し、作家の使用する素材（ラインテープやカッティングシート、釘）を使って、滞在制作中の作品づくりにご参加いただけます。

〈注意事項〉

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記についてのご理解ご協力をお願いいたします。

- ・マスクの着用、手洗いや手指消毒にご協力ください。
- ・風邪症状がある方、検温により37.5℃以上の方のご入館はお断りいたします。
- ・室内が混雑している場合は、入室をお待ちいただくことがあります。

作家プロフィール

光島貴之 MITSUSHIMA Takayuki

1954年 京都生まれ。ラインテープやカッティングシート、釘、布などを素材としたコラージュによって、主に平面や半立体の絵画作品を制作し、長年、「さわる絵画」や「触覚コラージュ」といった新たな表現手法を探究してきた。国内外での展覧会参加が多数ある他、2020年1月にギャラリー兼自身のアトリエとして「アトリエみつしま」をオープンし、触覚に着目したワークショップの実施やグループ展の企画などを精力的に行っている。

協力：株式会社高尾木材工業所



Photo：守屋友樹

■ 東京都渋谷公園通りギャラリーとは

2020年2月にグランドオープンした当ギャラリーは、アール・ブリュット等の振興拠点として、アートを通して、ダイバーシティの理解促進や包容力のある共生社会の実現に寄与するため、アール・ブリュット等をはじめとするさまざまな作品の展示や、新設した交流スペースを活用した対話的で創造的な交流プログラムを展開しております。



Photo：中村 晃



東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

Fax: 03-3464-5241 E-mail: inclusion@mot-art.jp

取材および広報用画像について

本企画の取材を希望される場合は、本紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールにてお申し込みください。また、本企画の広報用素材として **14点** の画像をご用意しております。希望されます場合は、希望画像をご記入の上、お申し込みください。

☐ 取材希望

☐ 画像使用希望

取材希望日時：

使用希望画像：

貴社名：

貴媒体名：

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他
○印をお付けください

発行・放送予定日：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

ご住所：（〒 ）

お電話番号：

FAX：

その他：

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記してください。
- ② 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ③ 本企画を紹介いただく場合には、恐れ入りますが掲載誌（紙）、DVD、CD等をご提供ください。



広報用画像一覧（作品画像は参考です）



① 《ハンゾウモン線・清澄白河から美術館へ》2019

釘、まち針、鋸、ピン、フック、ステッフル、トタン板、木材

制作協力：アトリエみつしま

Photo: Alloposidae



② 《ハンゾウモン線・清澄白河から美術館へ》2019

釘、まち針、鋸、ピン、フック、ステッフル、トタン板、木材

制作協力：アトリエみつしま

Photo: Alloposidae



③ 《踏みだす ひろがる かたち》2022

ミクストメディア

制作協力：アトリエみつしま

Photo: Hirotsugu Horii



④ 《踏みだす ひろがる かたち》2022

ミクストメディア

制作協力：アトリエみつしま

Photo: Hirotsugu Horii

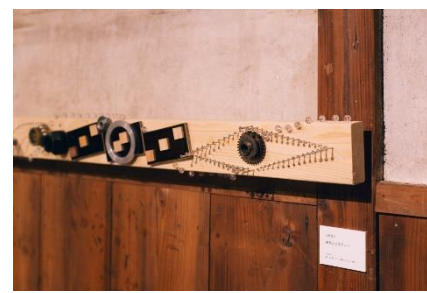


⑤ 《歯車とビスケット》2022

歯車、タイル、釘、まち針、ピン、木材

制作協力：アトリエみつしま

Photo: Hirotsugu Horii



⑥ 《歯車とビスケット》2022

歯車、タイル、釘、まち針、ピン、木材

制作協力：アトリエみつしま

Photo: Hirotsugu Horii



⑦ 《山》2019

ベニヤ、カッティングシート、釘、合板

制作協力：アトリエみつしま

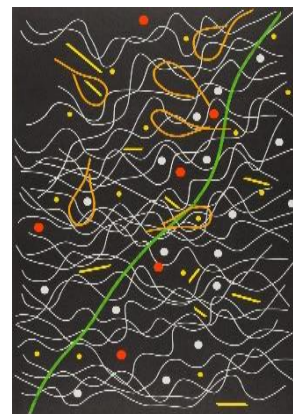
Photo: art space co-jin アートと障害のアーカイブ・京都



⑧ 《竹のリズム》2004

ラインテープ、カッティングシート、シール、紙

Photo: art space co-jin アートと障害のアーカイブ・京都



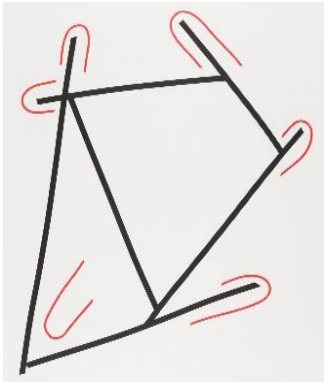
⑨ 《夜の森》2003

ラインテープ、カッティングシート、シール、色画用紙

Photo: art space co-jin アートと障害のアーカイブ・京都



東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Kaoh-dori Gallery



⑩《行き止まり》2004-2007

ラインテープ、紙

Photo: art space co-jin アートと障害のアーカイブ・京都

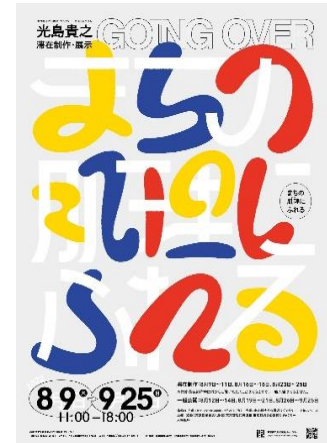


⑪《路地を通り抜けると》2015

カッティングシート、ラインテープ、点字シール、シール、アクリル板

制作協力：アトリエみつしま

Photo: art space co-jin アートと障害のアーカイブ・京都



⑫「まちの肌理にふれる」ポスター画像



⑬「まちの肌理にふれる」正方形バナー



⑭「まちの肌理にふれる」横長バナー